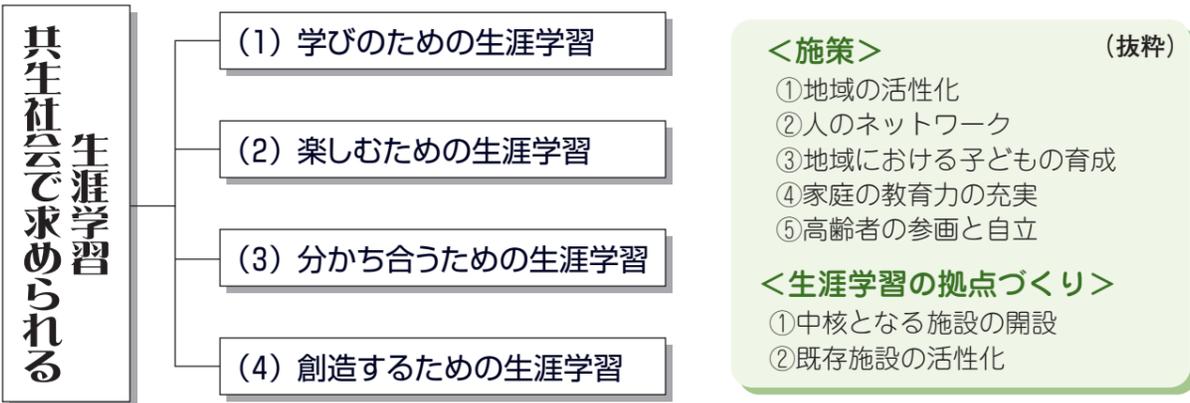


学び、楽しみ、分かち合い、創造する生涯学習と活動拠点づくり



播磨町においては、サークル活動やボランティア活動に参加する住民は年々増えており、個人レベルでの生涯学習の意欲は高い。今後は、「(1)学び」「(2)楽しむ」から、学んだことを地域や町に還元していく、つまり「(3)分かち合う」「(4)創造する」という広がりを持った生涯学習を重点的に推進していくことが、人間関係の活性化、地域づくり・まちづくりの原動力となる。

「まちづくり」に向けた生涯学習のグランドデザイン

	幼年期	少年期	青年期	中年期	高年期
主な施策 学び・楽しむ・分かち合い・創造するための生涯学習	<p>「阿閑学」 (地域資源発掘と) その有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史学習 貴重な人材発掘と活用 伝統芸能の継承と発展 播磨町の自然の再発見 <p>「人のネットワーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> サークルや団体の学習成果発表、PR活動、支援活動 既存組織(自治会、子ども会、老人クラブなど)と新規組織(NPO法人、夢づくり塾など)との協働 各方面のリーダーやコーディネーターの交流 <p>「世代間交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会活動(いきいきフォーラム、「トライやるウィーク」の受け皿、いきいきサロンなど) 子どもへの声かけや見守り運動 子どもと高齢者とのパートナーシップ <p>親子ふれあいの場 子どもを通しての近所づきあい</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業教育 子ども会の活性化 異年齢交流の場 地域活動への参加 子どもクラブの結成 <p>おやじクラブの結成 現職の強みを生かす場 地域活動への参画</p> <p>高齢者大学の充実 だれもが社会参加できるための支援</p>				
中核となる施設	<p>開設の必要性「多様な住民ニーズに応えられる機能を持った拠点、全町的な視野をもった活動の拠点」</p> <ul style="list-style-type: none"> 世代間交流施設 体験学習施設 (青少年の自主活動、夏休み親子体験教室、トライやるウィーク、休日や放課後の活動など) 諸団体活動施設 (夢づくり塾、NPO、ことぶき大学、ふれあいウェブ講座、ボランティアグループなど) 作品展示施設(ギャラリー、ロビー) 障害者交流施設 環境教育施設 研修施設 集会施設 宿泊体験施設 				
既存施設	<p>活性化の方向「機能の見直しと明確化、情報化とユニバーサル化、住民が主体となった管理運営」</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館(新たな住民ニーズに応える事業を展開、文化的な講座) コミュニティセンター (住民と行政の協働、地域課題解決の場、地域の情報交換と交流の場、層別分団の結成など) 図書館(家庭や学校、ボランティアグループとの連携) 郷土資料館(県施設との連携) 子育て学習センター 悩みが相談できる場 子育てグループの育成 				

播磨町教育審議会答申の概略



これからの播磨町教育について審議をいただいていた播磨町教育審議会の岩田一彦会長から、去る2月28日、藤井数雄教育委員長に答申書が手渡され、答申は3月9日の定例教育委員会で承認されました。

教育審議会の皆さまには、学校教育と生涯学習の両面から計16回にわたる審議を通し、大変意義のある答申をいただきありがとうございました。

生き方について自己選択、自己決定できる人間をめざして

<家庭では>

- 基本的な生活習慣づくり
- がまん強さや根気強さなどたくましい心を育てる場
- 具体的な体験活動の場

人生におけるインフラ(基盤)づくり

<学校では>

- 基本的な生活習慣づくり
- 基礎的基本的学力の定着
- 思いやりや協調性など豊かな人間性を育てる場

<地域では>

- 播磨町を心の故郷とする環境構成
- 具体的な体験活動の場

施策(抜粋)

1) 豊かな感性の涵養

——読書活動を通して——

- 絵本、紙芝居などの読み聞かせ(家庭・学校園)
- ショートホームルームなどを活用した読書活動の時間の確保(学校)
- 感想文の紹介や群読、読書ゲームなど読書活動の推進(学校)



▲感性を育てる絵本の読みきかせ

2) 確かな学力の保障

——学習習慣の確立と個に応じた指導を通して——

- 家庭における学習習慣の確立(家庭)
- 基本的学習方法訓練の指導(家庭)
- 個に応じた少人数学習の実施(学校)
- 到達目標の明確化(学校)
- 土曜日や放課後の学びの場の開設と充実(地域)



▲生活習慣を身につける

3) 人間としての基本的なあり方の育成

——生活習慣の確立を通して——

- 幼児期からの個人的生活習慣の育成(家庭)
- 対人的基本的な生活習慣の育成(家庭・学校園)
- 集団での望ましい生活習慣の育成(学校園)
- 子どもを「播磨町の宝」として地域でしつける風土の醸成(地域)



4) 自己の生き方に迫るキャリア教育の推進

——豊かな体験活動を通して——

- 好奇心を育てる自然体験や社会体験(家庭)
- 親の生き様、働く姿など職場見学(家庭)
- 生活リズムの確立(家庭)
- 自分が大切だと思うことをやり遂げたり、葛藤や挫折を乗り越えたりする体験(学校園)
- 社会人講師の発掘と活用(学校)

全校生で楽しんだ「ハッピーフェスティバル」



▲「ナイスショット!!」「ストライク!!」

蓮池小学校

蓮池小学校では、3月4日(金)は、1・2校時、計画委員会主催で「ハッピーフェスティバル」が行われました。全校生の親睦を図り、楽しい時間を過ごすこと、4から6年生が1から3年生を招待し、高学年も前半・後半に分かれてそれぞれのお店に遊びに行きました。「空き缶積み」「飛行機飛ばし」「豆つかみ」「片足バランス」など、簡単な準備で工夫されたお店が30店。「ぞうきんがけ競争」の後は廊下がピカピカに。子どもたちのアイディアに「今度は窓拭きも」とは、教師の声。「来年もまたできるといいな」と笑顔いっぱい子どもたちは楽しい2時間を過ごしていました。

蓮池小学校では、3月4日(金)は、1・2校時、計画委員会主催で「ハッピーフェスティバル」が行われました。全校生の親睦を図り、楽しい時間を過ごすこと、4から6年生が1から3年生を招待し、高学年も前半・後半に分かれてそれぞれのお店に遊びに行きました。「空き缶積み」「飛行機飛ばし」「豆つかみ」「片足バランス」など、簡単な準備で工夫されたお店が30店。「ぞうきんがけ競争」の後は廊下がピカピカに。子どもたちのアイディアに「今度は窓拭きも」とは、教師の声。「来年もまたできるといいな」と笑顔いっぱい子どもたちは楽しい2時間を過ごしていました。

▲「中身はな〜に」「さわってわかるかな？」

蓮池小学校では、3月4日(金)は、1・2校時、計画委員会主催で「ハッピーフェスティバル」が行われました。

北小「緑の少年団」がんばっています！

― 発団2年目・自然とふれあう活動を満喫 ― 播磨北小学校



▲自然を愛する活動を続けます

10月29日(土)には、全国育樹祭のお手入れ行事(神戸・三田)に参加し、育樹作業などを通して、育樹の重要性などを学びました。今後の主な交流活動予定は、次の通りです。5月29日(日)には、ひょうご森の祭典「緑の少年団の集い」(村岡町)の森林観察会、記念式典に参加し、森の大切さについて学び理解を深めます。

団員は4・5年生全員で、緑とふれあい、自然を愛する緑の愛護活動を行います。活動内容は、巣箱や樹木のネームプレート作りとその設置、稲作り、自然学校での奉仕活動、里山体験、植樹などです。また、東播磨地域育樹祭に参加し、活動発表、イベント行事、記念植樹などを通して、他地域の緑の少年団と交流を深め、森の働きやしくみを学んで自然とのかかわりを感じます。

播磨小流「ワーク活動」

播磨小学校

キラピカ、パクパク、くすのき校(工務店、健康...) 新学年を迎えると、6年生は前学年の経験をもとに話し合っ、「ワーク活動」をスタートさせます。「自分たちの学校は自分たちで」と、必要から生まれ、やる気から生まれた、ボランティア的活動。それが播磨小流「ワーク活動」。現在、12のワークが月初めの固定時間と当番などの常時活動で、6年生が5年生をリードしながら頑張っています。「お姉ちゃん、けがしたんやけど」「だいたいようかやで」あつちで一輪、こつちで一輪「やさしさの花を咲かせる、はりまっ子」。掲げたスローガン通りの活動が展開されています。

播磨小流「ワーク活動」

播磨小学校



▲きれいに色を塗りなおしました

おもちゃランドは楽しいよ！

〜1日入学〜 播磨南小学校



▲たくさん釣りたいな

6年生を送る会 ありがとう！おめでとう！

播磨西小学校



▲胸を張って堂々と

卒業式を1週間後に控えた3月15日(火)、6年生を送る会が行われました。



▲先生お世話になりました

読み聞かせ

播磨中学校



▲先生の声が教室中に広がります

平成16年度は、教師による読み聞かせを行いました。お薦めの本を読んで聞かせるのですが、生徒たちの真剣なまなざしに教師のほうに照れてしまうほどでした。中学生になると、もう本を読んでもらう機会はほとんどありませんので、生徒たちは新鮮に感じたようです。感想の中にも「読みたい本が増えた」「普段読まない内容の本の話が聞けてうれしい」「読んでもらうと場面が頭に浮かんでくる」など、楽しんでくれている内容のものが多かったです。1カ月に2回でしたが、生徒にとっても教師にとっても充実した1年となりました。

生徒会最後の行事、春季球技大会

播磨南高等学校



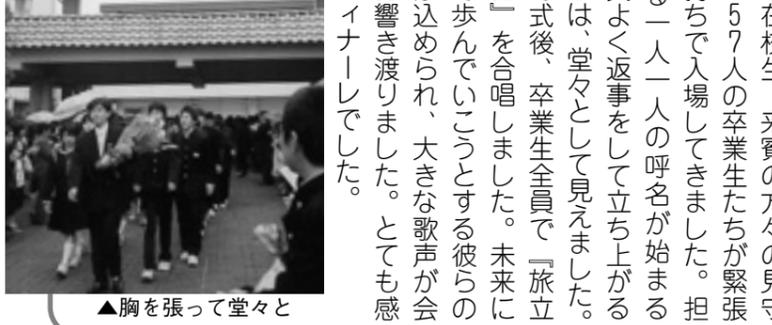
▲どのクラスも団結した球技大会

3月8日(火)に、よい天候の中で春季球技大会を行いました。種目は男子がサッカー、女子がバスケットボールで、競技方法はクラス対抗のトーナメント方式でした。どのチームも1回戦で負けないよう気合を込めて試合に挑んでいました。その結果優勝は男子が1年7組、女子が1年1組、準優勝は男子が2年4組、女子も2年4組のクラスでした。

春季球技大会は、私たち第20回生徒会として最後の行事でした。前回の夏季球技大会での反省をふまえ、一生懸命企画、運営しました。その努力の甲斐あって大成功に終わり、最後に最高の仕事が出来ました。これからは次の学年、第21回生徒会に仕事を引き継ぎ、私たちはよき先輩になれるよう活動を応援していきたいと思えます。

卒業『旅立ちの日』

播磨南中学校



▲先生お世話になりました

3月11日(金)、播磨南中学校体育館において、平成16年度卒業証書授与式が行われました。午前10時より、保護者や在校生、来賓の方々の見守る中、157人の卒業生たちが緊張した面持ちで入場してきました。担任による一人一人の呼名が始まる中、元氣よく返事をして立ち上がる生徒たちは、堂々として見えました。そして式後、卒業生全員で『旅立ちの日』を合唱しました。未来に向かって歩いていこうとする彼らの気持ちが込められ、大きな歌声が会場全体に響き渡りました。とても感動的なフィナーレでした。

リレーエッセイの依頼を受けたとき、お恥ずかしい話ですが、播磨町の住民になって30年になるにもかかわらず、この町に関して何も知らないし、積極的に地域の活動に参加したこともないので躊躇しました。

しかし、この地にすっかり根を生やし、地域の方たちとの交流を大切に、老後はこの地に身を委ねたいと、はつきり意識したのが3年前でした。

私、既に59歳。

幼いころから絵を描くのが好きだった私は、将来は絵で身を立たいと、働きながら美大の通信教育を受け、夏期スクーリングに6週間、これを4年間続けて東京で勉強しました。結果

は見事にこの思いを覆されました。現実の厳しさを思い知らされました。

独身の間は楽しみながら絵を描き、その後、結婚、出産、舅と姑を送り、子育ても終わりました。やっと自分の人生を見つめる余裕ができたのが3年前です。

無我夢中で働いてきた自分に褒美をあげるつもりで一大決心をしました。老後のために掛けていた保険を解約し、「今、この還暦前の59歳で使おう」と。そして、外側だけの小さな建物ですが、ついに私の夢、ギャラリーをたちあげたのです。内装は友と私でコツコツと工夫して作りしました。外は小さなスベ

ースですが、不用品を利用して私なりに満足できる庭(?)にしました。自分の絵も、誰に気兼ねすることなく飾れます。また、私の知人や先生方にお願いで、絵を展示していただき、私は居ながらにしていろいろな人たちの絵や書の作品を楽しむことができ、地域の方たちもポツポツですが、おしゃべりをするために集まってくれます。

また、ある方のアドバイスで娘のピアノを設置してミニコンサートも楽しみ、和気あいあいのすてきな時間も序々にでき、持つことができるようになりました。

自分のために有効にお金を使い、年を重ねるのも今では悪くないなあと思うこのごろです。

還暦前に夢実現

あなたに ハートワッチ

リレーエッセー⑧



澤田 隆子さん
(二子)

趣味 卓球、絵画

保健だより

笑いで毎日を健康に

健康福祉課 保健師 前川 啓子

皆さん、こんにちは。この春に、今までの生活が大きく変わられた方も多いことと思います。この季節、生活環境が大きく変わったり、新しい人間関係を築かなければならなかったりと、なかなか大変ですね。ある程度のストレスは必要ですが、それが強すぎたり、長すぎたりすると、身体や心が疲れきってしまいます。

それを、吹き飛ばしてくれる「笑い」。今回は、この「笑い」についてお話しします。

まず、皆さんは、「笑い」の効用をご存知ですか？笑うことで顔の筋肉を動かすし、お肌ハリとツヤを与えてくれます。また、笑いと涙を流すと副交感神経が刺激されて、リラックASできます。笑いと涙は、お腹が痛いという経験をされた方も多いと思いますが、これはお腹の筋肉を使って笑うためです。お腹から笑うことで、血行が良くなり、冷え予防になる、お通じが良くなる、心地よく眠れるなどの効果もあります。他にも、ストレスが長く続くと、免疫力が下がり、病気に対する抵抗力が弱くなりますが、笑うことで、免疫力を高める「NK細胞」が増えると言われています。

疲れているときは、人と話すことが面倒くさい、と言われる方もいらっしゃるかもしれませんが、そんなときは、鏡の前に立ってみてください。疲れた表情をしている人もそうでない人も、にっこり笑ってみましょう。疲れているときは、なかなか笑いでもOK。それだけでも、NK細胞は増えると言われていますし、心が少し上向きになりますよ。

人と話をして笑うのもよし、テレビを見て笑うのもよし。みんなでガハハッと笑って、身体とこころの疲れを吹き飛ばしましょう。

ありがとう！

播磨西幼稚園



▲みんなありがとう!!

年長児にやさしくしてもらったお礼に年少児、年中児が、お別れ会を計画してくれました。会場を自分たちの手で飾り、準備もOK。この日の年長児は、お客さんです。「やさしくしてくれてありがとう」「いろいろ教えてくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝え、年中児が縄跳びやこま回し、あやとり、ペープサート劇など見せてくれました。年少児が歌ってくれた手作りの歌「ありがとう」を聞いて、うれしさと寂しさで一杯になってきた年長児。その後、プレゼント交換です。年中児からはコサージュ、年少児からは、ペン立てをもらいました。年少児と年中児から頼りにされたうれしさを感じながら、年長児からも一人一人に「ありがとう」の気持ちでプレゼントを渡しました。

播磨南中学校3年生のお兄ちゃん、お姉ちゃん 楽しかったよ!! ありがとう!! 播磨幼稚園



“なかよしデー”で
たくさん遊んだね。

ホタルさん、大きくなってね!!

蓮池幼稚園



▲大きな声で歌いました

3月24日(木)、今日は進級することを楽しみに待っている新年長児たちが、野添北公園のホタル育成事業に参加しました。

昭和30〜40年代に、播磨町で見つけることのできたホタルやカワニナなどを、野添北公園に新しくオープンする「ホタルヒタツトガーデン」で育成し、子どもたちに身近な自然を体験させるという企画で、子どもたちはホタルの幼虫やカワニナなどを放流することになりました。

「これがホタルになるんや」「まだ小さいね」と、カップの中の生き物を笑顔で覗いていました。新しくできた小川の前に座り、「大きくなってね」とそっとカップから放流しました。その後、皆で『はるがきたんだ』の歌を歌い、やってくる春を心待ちにしました。

桜咲いたら年長児。ぼくたち大きくなるからホタルさんも大きくなってね。夏に会いにくるからね。

春を探そう

播磨中央保育園



▲たくさん見つけて帰ろう

子どもたちは、元気いっぱい園庭を駆けまわって遊んでいます。

「私の植えたチューリップの芽が、こんなに大きくなったよ」「○○ちゃん、こっちは花も大きくなってよ」と、うれしそうな声が聞こえてきました。そんな中「私、つくし見つけたよ」と教えてくれる子どもの声に、みんなで喜瀬川沿いへ春を見つけに行きました。子どもたちは、一番につくしを見つけた「ちっちゃくてかわいい」「こっちは、大きいせいたかさ」と、春一番を探し、心うきうきわくわくさせていました。「みんなも大きくなったね」の言葉に「ぼく、背伸びたもん」「小学校行くもん」と子どもたちの心も春の訪れの様です。

民謡を歌う小学1年生、 畑弘美ちゃんと岡部祐希ちゃん、 全国大会に行きます

2月6日(日)に行われた(財)日本民謡協会主催の民謡・民舞西近畿連合大会少年少女の部で、播磨西小学校1年生の畑弘美ちゃん(古田)が準優勝、同小学校1年生の岡部祐希ちゃん(古田)が3位に入賞しました。

いとこ同士の2人は、それぞれの母さんの影響を受けて民謡を歌うようになり、播磨町文化祭、自治会文化祭などで発表したり、ボランティア活動にも参加してきました。今回はじめてのコンクール出場で、全国大会への切符を手に入れたのです。

次代を担う青少年に対する日本文化の向上に向け、民謡・民舞・和楽器の



▲皆さんも応援してあげてください。

普及と育成の重要性が認識されつつある今日、2人の活躍はうれしい限りです。全国大会は8月27日(土)、28日(日)に東京で開催されます。

ゆめづくり塾活動報告 バリアフリー塾 講演会「福祉の町づくりの目指すもの」

3月27日(日)、中央公民館で多淵俊樹さん(兵庫県立福祉のまちづくり研究所長 工学博士)を講師に「福祉の町づくりの目指すもの」を開催しました。



いま、我が国のまちづくりの新しい潮流として、福祉のまちづくり条例、ハービリア法、交通バリアフリー法、景観法、そしてユニバ

サルデザインがあると指摘し、それをわかりやすく説明しました。研究所が、企業と共同開発した義手、歩行器、移動補助具など多くの製品を紹介し、研究所は、広く県民に窓を開けていると述べました。

兵庫県の福祉のまちづくり条例は、最も先進的な条例の一つであり、活用を訴え、最後に、教育は、家庭や学校だけでなく、地域社会が重要な役割をもっている」と語り講演を終了しました。

活気あふれる公民館まつり ボランティアでつくる手づくりまつり

公民館まつりは、展示パネルの運搬費用にサークル生自身がお金を出し、飾り付けや舞台の司会、進行、後片付けなどすべてを自らが行う手づくりまつりです。

今年も多くの人々の熱意によって、3月5日(土)・6日(日)の両日に盛大に開催され、文化活動の祭典、サークル生の皆さんの舞台発表や展示発表の場として、素晴らしい演技や、見事な作品が披露されました。



▲ディアンナ・シャインさんと井上克秋さん

模擬店の料理作りも、各自の役割を認識した、すばらしい行動でチームワークを発揮し、安価でおいしいメニューが好評でした。模擬店にかかわった人たちは自分たちが食事をする時間もないほど忙しく、あっという間に用意

したり、ビンゴゲームでドキドキしたりして、大勢の住民が楽しみました。また、あすなる手づくりグループの皆さんが、公民館まつりのバザー売上で毎年、特別養護老人ホーム阿閉の里、デイサービスセンター、知的障害者通所施設ゆうあい園、福祉会館などへ車いすや、ゲーム、洗濯機などをプレゼントされているほか、染の花サークル、水墨画教室も売上げの一部を、毎年福祉協議会に寄付されるなど、社会貢献の場としても公民館まつりは大切な役割を担っています。

播磨町にいられていたライマ市姉妹都市協会のディアンナ・シャインさんは、公民館まつりを見学され、「播磨町の生涯学習は素晴らしい。帰国したらこの感動を報告します」と、日本の文化に感動されていました。井上克秋講師の水墨画を購入し、七宝焼きの須方加代子講師から、着物の古布の手作りお雛様をプレゼントされるなど、大変喜んでおられ、公民館まつりの中で小さな国際交流が見られました。公民館まつりに汗を流されたサークル生の皆さん。本当に疲れさまでした。

播磨町出身、奥谷 巨さん マラソンで世界陸上に行きます

播磨中学校の卒業生で、現在富士重工業所属の奥谷巨さん(30歳)が、世界選手権代表に選考されました。大中の実家に帰省し、恩師である奥野先生(播磨南中)に会いに来られた奥谷さんに、お話を伺いました。

いつかはフルマラソンで世界へと思っていました。だから、ヘルシンキでは、自分の思う通りに走りたい」と、夢を引き寄せた満足そうな笑顔を見せてくれました。



▲南中陸上部から花束を贈られました

防火パレードで火災予防を訴える



3月6日(日)、春の全国火災予防運動の一環として「防火啓発パレード」が行われ、消防団員らが町内を

パレードには消防団の消防車11台、団員約40人のほか、加古川市東消防署播磨分署の消防車と救急車も参加。午前9時に役場前を出発し、約1時間30分かけて町内を巡回、火災予防を呼び掛けました。

ゆめづくり塾活動報告 子ども夢フェスタinはりま わたしたちのまち こんなまち

3月13日(日)、中央公民館でまちの未来を描く「子ども夢フェスタinはりま」が開催され、町内の小学生約70人が参加しました。

「ジェットコースターで学校まで行けるまち」「動物がいっぱいいて、花もきれいな大きな公園があったらいいな」「たくさん魚や生物がいるきれいな喜瀬川」「海で遊べる町がいい」など思いは様々。また、町のクイズや紙飛行機作りなども楽しみました。



▲たくさん夢があります

わんぱくはりまっ子



ささき ひかり 佐々木 陽ちゃん(1さい) 野 添

太陽のように明るく元気に育ってね。(パパ・ママより)



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

楽屋裏

小学校の入学式に取材でお邪魔しました。希望に満ちた輝かしい笑顔で、こちらですがすがすがしい気持ちになりました。子どもたちはばかりでなく、4月から新しい生活を始めた方も多いのでは。緊張した1カ月が過ぎて、少し疲れが出るところかと思いますが、心を開いて何事にもチャレンジしていきたいですね。広報「はりま」も今月号より紙面の構成を変えています。読みやすく、親しみやすい広報を目指していますがいかがでしょうか。また、播磨町のホームページもリニューアルしています。ぜひ一度のぞいてみてください。